

世田谷ものづくり学校の事業運営における評価・検証等について

1 主旨

世田谷ものづくり学校は、旧池尻中学校校舎を活用した新たなコミュニティの場として、平成16年に開設し、学校跡地活用の好事例として、全国的に注目される施設となった。

一方で、昨今のコロナ禍やデジタル技術の大幅な進歩等、この間の社会経済状況は大きく変化し、それに伴い産業構造や働き方も大きく変化してきており、旧池尻中学校跡地をさらに有効に活用する必要がある。

本資料(別紙)は、旧池尻中学校跡地活用の検討を進めるにあたり、これまでの事業運営における評価・検証をまとめ、今後の事業展開の基礎資料とするものである。

2 これまでの経緯

平成16年 3月	池尻中学校廃校
7月	イデーアールプロジェクト(株)と定期建物賃貸借契約締結
10月	第1期事業開始
平成18年10月	イデーアールプロジェクト(株)から(株)ものづくり学校に事業引継ぎ
平成21年 6月	(株)ものづくり学校と再契約(平成21年7月30日から平成26年7月29日(第2期))決定
7月	第1期事業終了・第2期事業開始
平成25年 9月	旧池尻中学校校舎の継続利用決定
12月	公募により運営事業者((株)ものづくり学校)を選定(平成26年7月30日から平成31年7月29日(第3期))
平成26年 7月	第2期事業終了・第3期事業開始
令和元年11月	「世田谷ものづくり学校事業の検証と今後の方向性について」 区民生活常任委員会報告
12月	新たな世田谷ものづくり学校の方向性に係る懇談会
令和 2年 7月	「新たな世田谷ものづくり学校(旧池尻中学校跡地)における今後の事業展開について」区民生活常任委員会報告
10月	新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた基本コンセプト策定に向けた有識者との意見交換
令和 3年 2月	「旧池尻中学校跡地活用の新たな基本コンセプトについて」 区民生活常任委員会報告
令和 4年 5月	事業終了予定※

※耐震補強再診断施設となったため、令和3年5月まで契約延長した。その後、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う令和3年度予算見直しにより耐震補強工事・中長期保全改修工事が1年先送りになったことで、令和4年5月まで再契約した。

3 評価・検証等の概要

別紙「世田谷ものづくり学校(H16年～R2年)の事業運営における評価・検証等について」より抜粋

(1) 施設現況(旧池尻中学校跡地) (P4より)

所在地	世田谷区池尻2-4-5
敷地面積	10,469.35㎡
用途地域	第一種住居地域
延床面積・構造	校舎棟:3,481.67㎡ RC造4階建(昭和50年6月竣工)

(2) 「世田谷ものづくり学校」のコンセプト (P5より)

地域の思い出として残る校舎の姿をそのままにして、世代を超えて誰もが今一度集うコミュニティの場、様々なものづくり体験を通して区民が交流できる場、また、地域の産業を促進する拠点と位置づけ「学び・雇用・産業」の再生という視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を図ることとした。

このコンセプトのもとで、校舎建物を民間事業者の有償で貸し付けをし、民間事業者がそのノウハウを十分活用し、行政では成し得ない事業手法を工夫することにより、行政の課題であった区内産業の育成と地域活性化の実現を目指してきた。

(3) 事業運営の方法 (P5より)

区と運営事業者が5年間の定期建物賃貸借契約を締結し、世田谷ものづくり学校を運営する。

運営事業者は校舎建物内の居室を事業者の有償で貸し付けをし、区と運営事業者との「世田谷ものづくり学校の運営等に関する協定書」の規定に基づき事業運営を行う。賃料の改定については、収支状況などに基づいて1年ごとに協議する。

(4) 各期まとめ

①第1期(平成16年8月～平成21年7月) (P15より)

「ものづくり」をキーワードに産業及び地域活性化への取り組みを軸として、様々な活動をして、一般事業者への創業支援の場とコミュニティ形成の機会を提供するとともに、新たな産業の育成にも取り組んだ。

また、事業者の持つ技術を地域や広く一般の方に還元するために、ものづくり体験や交流の場を提供し、子どもから大人まで多くの人々に利用される公共的な機能も果たした。

様々な分野の創造的な人と事が交わり、新たな価値が生み出されるプラットフォームとして、廃校という場所の機能がより有意義に活用された。中でも起業、創業を目指す人を育て新たな事業を展開するためのスクーリングパッド事業は、新規ビジネスを始めるための機運を高める役割を果たした。

それに加え、入居企業であったJ-WAVE がイベント等のタイアップやFM放送での発信をすることで全国的に有名な廃校活用事例として認知されるようになった。

第1期の終了間際に、若者の就労を支援する「せたがや若者サポートステーション」が開設され、世田谷ものづくり学校の施設特性を活かした事業の連携が検討された。

②第2期(平成21年8月～平成26年7月) (P26より)

民間のノウハウを活かした起業・創業支援をはじめ、入居事業者間の交流や商店会の設立や世田谷パン祭りを開催するなど新たなコミュニティづくりを行い、地域と一体となった取り組みを進め、浸透してきている。

そのようなことから、「ものづくり学校の運営等に関する協定書」の事業目的である学び・雇用・産業の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化、世田谷らしい新たな産業及び観光拠点の育成、創業に関する技術的な支援及び場の提供、ものづくり体験及び交流の場の提供について、十分に目的を果たしたといえる。

一方で、世田谷ものづくり学校退去者のうち区内で創業する事業者が少なかったことから、区内創業者を増やすことが課題となった。

前期に開設したせたがや若者サポートステーションの利用者が、ものづくり学校入居企業の職場見学などを通じて就労イメージを広げることができた。

③第3期(平成26年8月～) (P40より)

第3期から社会情勢を見据え、その時代に合った創業支援の形として、コワーキングスペースを提供し、インキュベーション施設として区内創業の機会を創出した。

また、3Dプリンターや3Dスキャナーを設置することにより、ものづくりに関心の高いクリエイター同士の交流が生まれるとともに、実際の機器を使ったセミナーや講座を開催することで、より高度な技術を習得できる場となった。

区立小学校でプログラミングの出前授業サポートを行うなど、今後必修科目となるプログラミング教育への協力や、海外の教育プログラムをテーマにした子ども・親子向け講座を数多く開催し、新たな教育をテーマとした活動を実施した。

平成26年9月に施設内にひきこもり等の相談支援を行うメルクマールせたがやを開設し、せたがや若者サポートステーションと併せて「世田谷若者総合支援センター」となった。引き続き、ものづくり学校内の入居企業での体験から就労につながる事業連携を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、フェイスシールドの作成やオンライン面接を支援するエールームの開設など、施設の強みを活かした新たな取り組みを行った。

(5) 世田谷ものづくり学校に関する数値まとめ (平成16年～令和2年) (P43より)

①世田谷ものづくり学校収支

収入	1, 734, 130千円
支出	1, 736, 332千円
収入－支出	▲2, 202千円

②世田谷区の歳入・歳出

歳入	181, 537千円
歳出	137, 545千円
歳入－歳出	43, 992千円

③世田谷ものづくり学校総来場者数

合計	866, 593名
----	-----------

④創業者数

合計	一般入居者退去者数	59 (13)
	創業支援事業者退去者数	75 (33)
	計	134 (46)

※ () 印は区内創業者数

⑤世田谷ものづくり学校イベント・ワークショップ実施総数

合計	イベント数	680回
	ワークショップ数	5, 243回
	計	5, 923回

(6) これまでの運営等に関する課題(第1期～第3期) (P45より)

これまで世田谷ものづくり学校では、地域住民や団体等と様々な取り組みを行う中で、地域コミュニティの拠点としての役割を目指してきたが、今後はそれに加え社会状況の変化に伴い、社会課題を解決する取り組みが進められることが望まれる。

このことを踏まえ、以下のとおり課題をまとめた。

①区民に開かれた空間

現在の世田谷ものづくり学校は、様々なイベントを開催し、コミュニティの核としての役割を果たす一方、施設を知らない周辺住民からは「中で何をやっているか分からない」との声があがっており、オープンで住民が集える場が必要である。

②KPI(重要業績評価指標)の設定と適切な評価体制づくり

これまで、第2期から目標数字の設定はなされているが、KPIの設定およびそれに基づく評価はなされていない。このため、以下のような評価体制づくりが必要である。

- ・評価委員会の設置と評価
- ・KPIの設定と協議の場づくり
- ・事業性評価に対する知見向上

③社会状況の変化への対応

コロナ禍やデジタル技術の大幅な進歩、SDGsへの対応等、この間の社会経済状況は大きく変化し、それに伴い産業構造や価値観も大きく変化してきている。これまでのものづくり中心の取り組みから広く産業全体を活性化させ、社会課題を解決する取り組みが必要である。

また、社会状況の急速な変化に伴い、子どもたちには自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動する能力が求められている。学校跡地という特性を活かし、多様な学びの場とすることが必要である。

このような社会状況の変化に対応して、新たな価値観を創造し、新たな学びの場を創出することが必要と考える。

(7) 新たな基本コンセプトの策定について (P46より)

平成16年の開設以来、世田谷ものづくり学校は「学び・雇用・産業」の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を目指し、産業に関わる様々な事業に取り組んできた。

また、開設当初から積み重ねた地域コミュニティとの関係は良好なものとなっており、年間を通して開催される様々なイベントは、地域の活性化や観光拠点の育成に繋がった。

こうした成果と前述の課題を踏まえ、今後の新たな事業展開を図るため、令和元年12月に「新たな世田谷ものづくり学校の方向性に係る懇談会」を開催し、有識者などとの意見交換を重ね、旧池尻中学校跡地について、校舎・校庭・体育館を一体の空間として活用し、新たな世田谷区の産業・学びの拠点とする「旧池尻中学校跡地活用の新たな基本コンセプト」を令和3年2月に策定した。

別紙

世田谷ものづくり学校（H16年～R2年）の
事業運営における評価・検証等について

令和3年9月

世田谷区経済産業部

目次

はじめに	3
施設現況	4
経緯	4
当初の目的、運営方法	5
各期の取組内容(第1期)	6
各期の取組内容(第2期)	16
各期の取組内容(第3期)	27
入居者からの声	41
世田谷ものづくり学校に関する数値まとめ	43
これまでの運営等に関する課題	45
新たな基本コンセプトの策定について	46

はじめに

世田谷ものづくり学校は、旧池尻中学校校舎を活用した新たなコミュニティの場として、平成16年（2004年）に開設し、学校跡地活用の好事例として、全国的にも注目される施設となった。

一方で、昨今のコロナ禍やデジタル技術の大幅な進歩等、この間の社会経済状況は大きく変化し、それに伴い産業構造や働き方も大きく変化してきており、旧池尻中学校跡地をさらに有効に活用する必要がある。

本資料は、旧池尻中学校跡地活用の検討を進めるにあたり、これまでの事業運営における評価・検証をまとめ、今後の事業展開の基礎資料とするものである。

1. 施設現況(旧池尻中学校跡地)

所在地	世田谷区池尻2-4-5
敷地面積	10,469.35㎡
用途地域	第一種住居地域
延床面積・構造	校舎棟:3,481.67㎡ RC造4階建(昭和50年6月竣工)

2. 経緯

平成12年 9月	池尻中学校廃校決定
平成15年12月	活用案について企画総務、区民生活、文教常任委員会報告
平成16年 3月	「世田谷区財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例」改正第4条第3号「事業者が、区民にもものづくりについて学び、又は体験することができる機会を提供し、創業を支援し、及び区民の地域交流活動を促進するためのものづくりに関する事業として、調整し、及び運営する(他のものに一部を転貸する場合等を含む。)ために使用する時」 池尻中学校廃校
7月	イデアールプロジェクト(株)と定期建物賃貸借契約締結
10月	第1期事業開始
平成18年10月	イデアールプロジェクト(株)から(株)ものづくり学校に事業引継ぎ
平成21年 6月	(株)ものづくり学校と再契約(平成21年7月30日から平成26年7月29日(第2期))決定
7月	第1期事業終了・第2期事業開始
平成25年 9月	旧池尻中学校校舎の継続利用決定
12月	公募により運営事業者((株)ものづくり学校)を選定(平成26年7月30日から平成31年7月29日(第3期))
平成26年 7月	第2期事業終了・第3期事業開始
令和元年11月	「世田谷ものづくり学校事業の検証と今後の方向性について」 区民生活常任委員会報告
12月	新たな世田谷ものづくり学校の方向性に係る懇談会
令和 2年 7月	「新たな世田谷ものづくり学校(旧池尻中学校跡地)における今後の事業展開について」区民生活常任委員会報告
10月	新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた基本コンセプト策定に向けた有識者との意見交換

令和 3年 2月 「旧池尻中学校跡地活用の新たな基本コンセプトについて」
区民生活常任委員会報告

令和 4年 5月 事業終了予定※

※耐震補強再診断施設となったため、令和3年5月まで契約延長した。その後、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う令和3年度予算見直しにより耐震補強工事・中長期保全改修工事が1年先送りになったことで、令和4年5月まで再契約した。

3. 当初の目的、運営方法

(1) 世田谷ものづくり学校の創設について

世田谷区立学校の初めての統廃合校として、池尻中学校は新星中学校と統合され、新星中学校は三宿中学校と名称変更し、旧池尻中学校後利用の検討を開始した。

区民や民間事業者から寄せられた意見をもとに検討を進め「世田谷ものづくり学校」として活用することとなった。

(2) 「世田谷ものづくり学校」のコンセプト

地域の思い出として残る校舎の姿をそのままにして、世代を超えて誰もが今一度集うコミュニティの場、様々なものづくり体験を通して区民が交流できる場、また、地域の産業を促進する拠点と位置づけ「学び・雇用・産業」の再生という視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を図ることとした。

このコンセプトのもとで、校舎建物を民間事業者の有償で貸し付けをし、民間事業者がそのノウハウを十分活用し、行政では成し得ない事業手法を工夫することにより、行政の課題であった区内産業の育成と地域活性化の実現を目指してきた。

(3) 事業運営の方法

区と運営事業者が5年間の定期建物賃貸借契約を締結し、世田谷ものづくり学校を運営する。

運営事業者は校舎建物内の居室を事業者の有償で貸し付けをし、区と運営事業者との「世田谷ものづくり学校の運営等に関する協定書」の規定に基づき事業運営を行う。賃料の改定については、収支状況などに基づいて1年ごとに協議する。

4. 各期の取組内容

(1) 第1期(平成16年8月～平成21年7月)

①ものづくり学校の運営等に関する協定書(抜粋)

(事業目的等)

第1条 イデーアールプロジェクト株式会社は、定期建物賃貸借契約第2条の規定により、定期建物賃貸借契約第1条に規定する本物件において、世田谷区財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例第4条第3号に規定するものづくりに関する事業を行う。

2 イデーアールプロジェクト株式会社は、ものづくり事業を行うに当たっては、学び・雇用・産業の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を目指し、世田谷らしい新たな産業及び観光拠点の育成、創業に関する技術的な支援及び場の提供、ものづくり体験及び交流の場の提供などに取り組むものとする。

3 ものづくり事業におけるものづくりとは、人が身体を動かし、具体的な創造的製作をする行為及びその支援をする行為並びに生活環境を向上させるため有形・無形の文化的資産を創造・伝達させる行為とする。

4 イデーアールプロジェクト株式会社は、本物件の教室部分をものづくり事業として、調整し、及び運営するため、ものづくり事業に協力し、又は参加する者(対象者)を募集するものとする。

5 対象者の募集資格は、次のとおりとする。

(1) 次のいずれかに関するものづくりを行う者であること。

ア 工業製品デザイン

イ 映像

ウ 音楽

エ 建築

オ 家具・インテリア

カ 絵画、彫刻、オブジェ、陶芸、その他のアート

キ アからカまでに定めるものの事業化を円滑に行うためのビジネスシステムをデザインするもの

ク その他ものづくり事業にふさわしいと判断されるもの

(2) 次のいずれにも該当する者であること。

ア 将来的に世田谷区内での創業又は企業移転についての計画を有する者

イ 世田谷区の住民等に対して、有益な貢献をする能力・職能を有し、ものづくり事業の中で習得した技術を活かした地域貢献活動ができると判断される者

(3) ものづくり事業において統一ブランドなどを利用して作品・製品を発表する場合に、ものづくり事業の中での成果物の一部又は全部をもって、統一ブランドなどに参画することのできる者であること。

②主な取組内容

- 平成16年 7月 調印式
(2004年) 8月 プレス発表式
夏休み特別企画①「校舎内探検ツアー」
夏休み特別企画②「ペンキ塗りワークショップ」
10月 ものづくり学校が本格スタート
池尻小学校教職員見学会
11月 自然を楽しむ、緑を楽しむ IID GREEN DAY 開催
職業現場体験事業「東京コレクション」
池尻保育園児 IID お散歩見学
池尻小学校 PTA 見学会
12月 R-C h r i s t m a s 2 0 0 4
OMOI 写真展「都営池尻アパート6号館～13号館」
IID こどもギャラリーDAY 開催
平成17年 2月 ものづくり Workshop「線で遊ぶ切り絵ワークショップ」
(2005年)
3月 クリエイター創業支援セミナー開催
出張ワークショップ@池尻小学校
フリーマーケット
4月 「食材の寺子屋」グランドオープン
IID GREEN DAY2005
5月 「ものづくり交流会大ミーティング」開催
アートする教科書展～現実社会を教室へ～
6月 100万人のキャンドルナイト@世田谷ものづくり学校
ギャラリー展示～And Your Bird Can Sing
7月 女性の就業を支援する連続講座「ソウルジョブ塾」
8月 夏休み特別企画「IID オープンスクール」開催
9月 「スクーリング・パッド」開校

- 「こどもえいがかん」がオープン
- 10月 1周年フリーペーパー
1周年イベント「IID ON MOVE 2005」
ヤングワークフェア in IID～非事務系の仕事を希望する若者集まれ
シンポジウム「廃校活用のインキュベーションを考える」
IID映画会
※池尻団地町会とIIDの共同企画。IIDを地域コミュニティの拠点とすることを目的に、池尻町内のお年寄りを誘って映画鑑賞&カフェで交流。
土地活用モデル大賞受賞
- 11月 大学生のためのIID施設案内&説明会
- 12月 ものづくり交流会大ミーティング&餅つき大会
- 平成18年(2006年) 1月 1F元放送室に日本初の「スノードーム美術館」がOPEN
2月 「スクーリング・パッド」映画ビジネス学部開講
3月 池尻小学校卒業記念出張ワークショップ
4月 IID GREEN DAY2006
5月 池尻保育園役員会ミーティングルームの無料活用
6月 『夜の絵画教室』
7月 池尻ロマンス座「名画交流会」
8月 ゆかたを着て日本舞踊を体験しよう！
学校園 夏休み企画 藍生葉染め for KIDS
9月 「ギルド祭り」開催
- 10月 花小屋 in 世田谷ものづくり学校 秋場所「秋の道草」
- 12月 WINTER FEST. AT IID-親子ですごすあったかいクリスマス-
- 平成19年(2007年) 1月 熱中！ジェンベ教室
2月 赤いかかとの靴下一足であなただけのソックモンキーつくりませんか
3月 Notcho's Workshop Presents ちょきんパネルをつくらう！
4月 IID GREEN DAY2007
6月 IID キャンドルナイト2007

- 7月 キッズワークショップ 2007
- 8月 Notcho's Workshop Presents 「題して、バランスゲーム」
- 9月 3周年フリーペーパー
ON MOVE IID 3周年記念イベント
- 10月 Design Pitch
- 11月 ビジネスサポートセミナー 冬季集中講座
- 12月 ウィンター・フェスト 2007-IID が贈るあったかいクリスマス
上映会運営体験ワークショップ / 声優体験ワークショップ
What`s IID 館内スタンプラリー
- 平成20年 4月 セミナー「ものづくり学校のつくりかた」
(2008年) IID GREEN DAY2008
- 6月 IID キャンドルナイト 2008
- 8月 キッズワークショップ 2008
- 10月 ものづくり学校4周年記念 IID オープンキャンパス
- 12月 WINTER FEST. 2008—親子で過ごすあったかいクリスマス
- 平成21年 4月 IID GREEN DAY2009
(2009年) 6月 せたがや若者サポートステーション開設
IID キャンドルナイト 2009

③入居事業者

ものづくりに関わる事業者が世田谷ものづくり学校を拠点とし、事業者間での新たなビジネスの創出や新事業の立ち上げなどが成し遂げられた。

主な業種: グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、建築、ファッションデザイン、フードコーディネーター、映像制作、編集、貸しスタジオ、フォトグラフ、木工制作、広告制作、食品製造、ウェブデザイン、イベントプロデュース、メディアコンテンツ制作 など

期 間	一般事業者	支援事業者	計
平成16年10月から平成17年7月	28	10	38
平成17年 8月から平成18年7月	26	14	40
平成18年 8月から平成19年7月	26	14	40
平成19年 8月から平成20年7月	26	14	40
平成20年 8月から平成21年7月	27	14	41

④来場者数

毎年、来場者数は伸び続け、世田谷ものづくり学校の認知度が上がり、イベントやワークショップ、ギャラリー展示などのコンテンツも年々充実している。

期 間	来場者数
平成16年10月～平成17年7月	27, 170名
平成17年 8月～平成18年7月	32, 112名
平成18年 8月～平成19年7月	36, 569名
平成19年 8月～平成20年7月	41, 954名
平成20年 8月～平成21年7月	51, 096名
計	188, 901名

⑤IID ギャラリーの活動

世田谷ものづくり学校に併設されている IID GALLERY は、大きな空間を活かして様々な企画展を開催した。区民や学生をはじめ、多くの一般の方にも利用され、より身近な展示空間として認知された。

期 間	開催件数
平成16年10月～平成17年7月	12回
平成17年 8月～平成18年7月	16回
平成18年 8月～平成19年7月	9回
平成19年 8月～平成20年7月	15回
平成20年 8月～平成21年7月	18回
計	70回

開催内容:現代アート、デザイン、工芸に関する展示、ダンスパフォーマンス、ライブ、ワークショップなど

⑥ワークショップの活動

入居者や世田谷ものづくり学校に関係するクリエイターが新しい「学び」と「創造」を体験できるワークショップを開催した。毎月10回程度のワークショップを開催し、クリエイターと参加者の出会いや双方が学び、発見し、好奇心を養うことに寄与した。

期 間	ワークショップ開催件数
平成16年10月～平成17年7月	70回
平成17年 8月～平成18年7月	124回
平成18年 8月～平成19年7月	126回
平成19年 8月～平成20年7月	122回
平成20年 8月～平成21年7月	204回
計	646回

開催内容

- ・庭仕事の楽しみ ・熱中！ジェンベ教室 ・木工ワークショップ
- ・ポーターズワークショップ ・スノードームワークショップ ・草のこと教室

⑦イベントの開催

世田谷ものづくり学校における地域交流や一般の方への告知、情報及びメッセージ発信の重要な機会として、年間4～5回の大規模なイベントを開催した。クリエイター、ボランティア、来場者など多くの人が集い、交流を重ね、経験することで、世田谷ものづくり学校に新たな価値を見出すことができた。また、地域、社会貢献の一環としても、「ものづくり」、「デザイン」、「再生」といった視点から実施された。

期 間	イベント開催件数
平成16年10月～平成17年7月	52回
平成17年 8月～平成18年7月	92回
平成18年 8月～平成19年7月	34回
平成19年 8月～平成20年7月	67回
平成20年 8月～平成21年7月	86回
計	331回

※開催内容

- ・GREEN DAY:みどりをテーマとして、より良い環境とライフスタイルを提案するイベント
- ・キャンドルナイト:地域温暖化対策として電気を消して過ごす夜のイベント
- ・Design Pitch:著名なクリエイターを集め、それぞれの仕事をテーマに沿ってプレゼンテーションをする
- ・カフェライブ:毎月1回カフェスペースで開催するカジュアルで質の高い音楽ライブ
- ・キッズワークショップ:夏休みの子どもの対象に開催するワークショップ特集
- ・WINTER FEST:クリスマスに開催する子どものための映画祭やワークショップなど

⑧広報

あらゆるメディアから取材を受け、記事として取り上げられることで、広く世田谷ものづくり学校の活動内容を理解され、知名度やブランディングを向上させることができた。また、入居事業者も媒体に露出する機会が増え、ビジネスチャンスにつながった。

期 間	メディア掲載件数
平成16年10月～平成17年7月	116件
平成17年 8月～平成18年7月	123件
平成18年 8月～平成19年7月	93件
平成19年 8月～平成20年7月	118件
平成20年 8月～平成21年7月	195件
計	645件

新聞：日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、朝日せたがや中学生新聞、日本建材新聞、生活産業新聞 など

テレビ：日本テレビ、NHK、スペースシャワーTV、イツコム など

ラジオ：J-WAVE、エフエム世田谷、渋谷 FM など

書籍・雑誌：ecocolo、kunel、天然生活、Lingkaran、ソトコト、日経ものづくり、BRUTUS、surprise など

ウェブ：ecocolo web、SALUS WEB、CINRA.NET、green.jp、エキサイト、ウーマントピックス など

フリーペーパー：SALUS、住宅情報タウンズ、trico など

⑨視察

全国的に増えつつある廃校の先進的な活用事例として注目を集め、全国各地の自治体や企業から世田谷ものづくり学校に視察に訪れた。

期 間	視察受入件数
平成16年10月～平成17年7月	116件
平成17年 8月～平成18年7月	59件
平成18年 8月～平成19年7月	40件
平成19年 8月～平成20年7月	62件
平成20年 8月～平成21年7月	27件
計	304件

⑩収支

⑩－1世田谷ものづくり学校収支

(単位:千円)

		H16年8月～ H17年7月	H17年8月～ H18年7月	H18年8月～ H19年7月	H19年8月～ H20年7月	H20年8月～ H21年7月
収入	転貸借賃料	51,179	71,219	70,918	71,960	73,282
	管理費	4,386	6,142	5,873	5,178	4,936
	雑収入	18,215	32,784	51,998	55,130	67,817
	合計	73,780	110,145	128,789	132,268	146,035
支出	施設賃借料	8,340	10,008	10,008	10,008	10,008
	光熱水費	7,015	9,389	9,232	8,621	8,267
	施設管理費	16,059	34,814	43,761	41,775	46,062
	イベント費・ 広告宣伝費	14,844	5,374	20,005	16,885	14,272
	事務経費等	69	5,465	2,316	3,844	5,570
	初期投資償却	7,650	9,180	11,844	2,661	3,501
	人件費	28,336	30,185	31,466	46,972	56,608
	合計	82,313	104,415	128,632	130,766	144,288
収入－支出		－8,533	5,730	157	1,502	1,747

⑩-2世田谷区の歳入・歳出

(単位:千円)

		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
歳入	施設賃貸借料	—	10,008	10,008	10,008	10,008	10,008
	合計	—	10,008	10,008	10,008	10,008	10,008
歳出	修繕	527	523	504	767	921	746
	環境衛生業務 委託		655	645	645	644	644
	自家用電気工 作物定期点検		313	313	313	242	242
	消防設備保守 点検	391	391	391	391	210	210
	その他※	22,539	0	0	0	0	5,349
	合計	23,457	1,882	1,853	2,116	2,017	7,191
歳入－ 歳出		－23,457	8,126	8,155	7,892	7,991	2,817

※H16年度 校舎棟工事設計・工事経費(22,539千円)

※H21年度 バリアフリー工事(5,349千円)

⑪まとめ(第1期)

「ものづくり」をキーワードに産業及び地域活性化への取り組みを軸として、様々な活動をして、一般事業者への創業支援の場とコミュニティ形成の機会を提供するとともに、新たな産業の育成にも取り組んだ。

また、事業者の持つ技術を地域や広く一般の方に還元するために、ものづくり体験や交流の場を提供し、子どもから大人まで多くの人々に利用される公共的な機能も果たした。

様々な分野の創造的な人と事が交わり、新たな価値が生まれるプラットフォームとして、廃校という場所の機能がより有意義に活用された。中でも起業、創業を目指す人を育て新たな事業を展開するためのスクーリングパッド事業は、新規ビジネスを始めるための機運を高める役割を果たした。

それに加え、入居企業であった J-WAVE がイベント等のタイアップや FM 放送での発信をすることで全国的に有名な廃校活用事例として認知されるようになった。

第1期の終了間際に、若者の就労を支援する「せたがや若者サポートステーション」が開設され、世田谷ものづくり学校の施設特性を活かした事業の連携が検討された。

(2) 第2期(平成21年8月～平成26年7月)

①ものづくり学校の運営等に関する協定書(抜粋)

(事業目的等)

第1条 株式会社ものづくり学校は、定期建物賃貸借契約第2条の規定により、定期建物賃貸借契約第1条に規定する本物件において、世田谷区財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例第4条第3号に規定するものづくりに関する事業を行う。

2 株式会社ものづくり学校は、ものづくり事業を行うに当たっては、学び・雇用・産業の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を目指し、世田谷らしい新たな産業及び観光拠点の育成、創業に関する技術的な支援及び場の提供、ものづくり体験及び交流の場の提供などに取り組むものとする。

3 ものづくり事業におけるものづくりとは、人が身体を動かし、具体的な創造的製作をする行為及びその支援をする行為並びに生活環境を向上させるため有形・無形の文化的資産を創造・伝達させる行為とする。

4 株式会社ものづくり学校は、ものづくり事業に協力し、又は参加する者(対象者)を募集し、本物件の旧教室部分を転貸するものとする。

5 対象者の募集資格は、次のとおりとする。

(1) 次のいずれかに関するものづくりを行う者であること。

ア 工業製品デザイン

イ 映像

ウ 音楽

エ 建築

オ 家具・インテリア

カ 絵画、彫刻、オブジェ、陶芸、その他のアート

キ アからカまでに定めるものの事業化を円滑に行うためのビジネスシステムをデザインするもの

ク その他ものづくり事業にふさわしいと判断されるもの

(2) 次のいずれにも該当する者であること。

ア 将来的に世田谷区内での創業又は企業移転についての計画を有する者

イ 世田谷区の住民等に対して、有益な貢献をする能力・職能を有し、ものづくり事業の中で習得した技術を活かした地域貢献活動ができると判断される者

(3) ものづくり事業において統一ブランドなどを利用して作品・製品を発表する場合に、ものづくり事業の中での成果物の一部又は全部をもって、統一ブランドなどに参画することのできる者であること。

(4) 対象者には、創業者・起業者を必ず含むこと。詳細について、事前に協議すること。

②主な取組内容

平成21年 (2009年)	8月	キッズワークショップ 2009
	10月	開校5周年記念「IID 5TH ANNIVERSARY OPEN CAMPUS」 三宿四二〇商店会発足
	12月	ウインターマーケット
平成22年 (2010年)	3月	ビジネスリーグV ビジネスの夢と理想形 (イベント) 同窓会-お茶の水美術学院出身者によるグループ展
	4月	IID GREEN DAY2010
	5月	現在手工業展 2010 「作り手ゆえのデザイン」 ≡ 「手作りゆえの質感」
	6月	IID キャンドルナイト 2010
	7月	EXHIBITION TOUR「ヒトノユメ展」
	8月	キッズワークショップ 2010 三宿四二〇商店会 夏休みシゴト体験
	9月	RISO スクリーンプリント展
	10月	6周年記念祝典 (学園祭)
	11月	ふれルはレる (個展)
	12月	IID キャンドルマーケット 2010 クリスマスのハッピーアイテムをつくろう
平成23年 (2011年)	1月	製本ワークショップ
	2月	ハンカチに好みの柄をプリントしよう (ワークショップ)
	3月	カラフル☆コインケースを作ろう！！

- 4月 IID GREEN DAY2011
Mother`s day アレンジメント
- 5月 Akko はんこワークショップ (消しゴムはんこづくりワークショップ)
- 6月 お部屋リゾート「貝殻とアレンジメント」
- 7月 お魚ランプを作ってみんなで大きなブラックライトの海を作ろう
- 8月 キッズワークショップ 2011
- 9月 N・G・R ベビーシューズ制作ワークショップ
- 10月 7周年記念パーティ
「世田谷パン祭り」開催
- 11月 自転車ポタリングで使える撮影きりとりテクニック (イベント)
- 12月 IID キャンドルマーケット 2011
MISHUKU R. 420SALON LIFE×STYLE (トークイベント)
- 平成24年 1月 IID Creator`s Market
(2012年) 2月 黒田征太郎さんと描くアート (教育委員会主催)
again 石巻 映画「大津波の後に」「槌音」上映会)
- 3月 気仙沼の丸光食品さんの話を聞こう (イベント)
- 4月 IID GREEN DAY2012
- 5月 起業マインドサイト ガイダンスセミナー
- 6月 IID Channel ネット放送局
- 7月 夏休みに間に合う！初めてでも恥をかかないアウトドア実践講座
- 8月 キッズワークショップ 2012
- 9月 持続可能な農業をデザインする (イベント)
- 10月 IID 8th Anniversary
マニキュアチップで☆キッチュな指ブローチを作ろう！
- 11月 世田谷パン祭り 2012
「隠岐の暮らし体験プログラム」に参加してみませんか？
- 12月 はじめてのモーショングラフィックス
自由大学祭
IID Winter Fest

- 平成25年 1月 世田谷工業振興協会へ入会
(2013年) 2月 三条のものづくり ぐるっと体験フェスティバル
3月 次世代クリエイター表現技法 テキスタイル実技
(ワークショップ)
4月 IID GREEN DAY2013
5月 親と子とみんなの写真教室
6月 野菜染め workshop スイーツ&ハンモック体験付
き
7月 「はじめての朗読」勉強会
GO SLOW ゆっくりとライブ
8月 キッズワークショップ2013
9月 飛騨市×IID「暮らしの知恵と手作りの楽しみ ト
マトケチャップを作ろう」
10月 「燕三条 工場の祭典」ファンツアー
世田谷パン祭り 2013
11月 十勝町×世田谷「新潟の無農薬野菜でハロウエイ
ン
(交流イベント)」
12月 地域の魅力を伝える「音×酒 in 川場村」CDリリ
ース
ライブ」
- 平成26年 1月 「巡る竹林」四海波の花かごづくりと使い方 (ワー
(2014年) クショップ)
2月 セタコレ-セタガヤ配財コレクション
3月 GAKUGAKU-SAI (楽学祭)「HAND of ORIGINATE」
こども映画教室@せたがや
4月 相川合成樹脂工業所 製品・試作品展
5月 ASAKOMA「はじめての落語」
6月 東北と東京-震災から3年、わかったこと (イベ
ント)
7月 三宿蚤の市 2014
青のホリデー2014、世田谷カレーパンまつり 2014

③入居事業者

文化性豊かな地域特性にあわせて、個人事業主・企業を誘致し、創業まもない事業者から、第一線で活躍する企業まで新たな価値を生み出すクリエイターが活動した。

主な業種:グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、Web、建築、アパレル、映像、編集、フードコーディネーター、メディアコンテンツ制作、PR・プロデュース、スクール運営、編集スタジオ運営 など

期 間	一般事業者	支援事業者	計
平成21年8月から平成22年7月	29	14	43
平成22年8月から平成23年7月	30	14	44
平成23年8月から平成24年7月	30	14	44
平成24年8月から平成25年7月	33	11	44
平成25年8月から平成26年7月	33	11	44

④来場者数

幅広い世代、職業の方々が多様な目的を持って訪れ、人々の交流と体験からネットワークが形成された。

期 間	来場者数
平成21年8月から平成22年7月	40, 221名
平成22年8月から平成23年7月	32, 367名
平成23年8月から平成24年7月	44, 292名
平成24年8月から平成25年7月	49, 427名
平成25年8月から平成26年7月	54, 256名
計	220, 563名

⑤IID ギャラリーの活動

地域住民や学生、企業にも広く利用され、発表や交流の機会を生み出された。美術展示からメーカーの製品発表会、アパレルブランドの展示会などにわたり、施設内のカフェとも連携してレセプションパーティが開催されるなど、ビジネスにもつながる発表の場としても機能した。企画展では多数の来場者が訪れ、文化発信の場所としても大きな注目を集めた。

期 間	開催件数
平成21年8月から平成22年7月	7回
平成22年8月から平成23年7月	19回
平成23年8月から平成24年7月	11回
平成24年8月から平成25年7月	2回
平成25年8月から平成26年7月	11回
計	50回

開催内容:現代手工業展、武蔵野美術大学卒業記念展、製品展示会 など

⑥ワークショップの活動

様々な仕事のプロフェッショナルが日々の仕事や暮らしに役立つ知恵や技術を教えた。子どもを対象にした講座も多数開催し、将来の仕事の多様性、働く意志を創出するきっかけとなる機会を提供した。また、講師、出展者にとっても自身の仕事や活動をPRし、新たなビジネスチャンスを生む役割を果たした。

期 間	ワークショップ開催件数
平成21年8月から平成22年7月	320回
平成22年8月から平成23年7月	348回
平成23年8月から平成24年7月	283回
平成24年8月から平成25年7月	327回
平成25年8月から平成26年7月	453回
計	1,731回

開催内容

・プロの技術伝承

映像ディレクター:CMをつくろう!ワークショップ&レクチャー

テキスタイルデザイナー:次世代クリエイターのためのテキスタイル講座

放送作家:超短編作家・企画体験

映像制作ディレクター:コマ撮りアニメーション制作

マジシャン:マジックから学ぶコミュニケーション力・プレゼンテーション力

・大人向けものづくり体験

電機メーカー:太陽の力で走るソーラーカーを作ろう

木工職人・デザイナー・木工教室:スツール制作

製本家:製本ワークショップ

・子ども、親子向けものづくり体験

プロダクトデザイナー:木製スプーン、フォークづくり

建築家:ストローで建築模型をつくろう

グラフィックデザイナー:地域探検と自分だけのマップ制作、発表

⑦イベントの開催

地域交流やメッセージ発信の場として、多様な世代、職業の方々が集まる交流の場となった。

期 間	イベント開催件数
平成21年8月から平成22年7月	18回
平成22年8月から平成23年7月	38回
平成23年8月から平成24年7月	35回
平成24年8月から平成25年7月	26回
平成25年8月から平成26年7月	23回
計	140回

※開催内容

- ・世田谷パン祭り:パンを作る人、食べる人、学ぶ人、様々な想いを持った人たちが集うイベント
- ・GREEN DAY:みどりをテーマとして、より良い環境とライフスタイルを提案するイベント
- ・キャンドルナイト:地域温暖化対策として電気を消して過ごす夜のイベント
- ・WINTER FEST:クリスマスに開催する子どものための映画祭やワークショップなど
- ・IID Anniversary:周年記念イベントとして世田谷ものづくり学校の紹介とともに、関係者との交流の場を作る
- ・GO SLOW ゆっくりとライブ:廃校のカフェでアコースティックライブを実施

⑧広報

廃校活用事例や日々行われるイベント、ワークショップが、各種メディアに取り上げられ施設の知名度を上げた。

期 間	メディア掲載件数
平成21年8月から平成22年7月	41件
平成22年8月から平成23年7月	47件
平成23年8月から平成24年7月	57件
平成24年8月から平成25年7月	38件
平成25年8月から平成26年7月	79件
計	262件

新聞：日本経済新聞、日刊工業新聞、朝日新聞、東京新聞、産経新聞 など

テレビ：テレビ朝日、フジテレビ、TOKYO MX、イツコム など

ラジオ：J-WAVE、TBS ラジオ、ニッポン放送、エフエム世田谷 など

書籍・雑誌：Hanako、ぴあ、世田谷ライフ、Men`sFUDGE、SPA！進研ゼミ、OZ マガジン など

ウェブ：ほぼ日、webDICE、TOKYO ウォーカーweb 版、日経 BP 社ケンプラッツ、など

フリーペーパー：フラッグス、tatsumaki、とくらく、ザリガニワークス など

⑨視察

全国の自治体、企業、大学など多くの視察者が訪れ、廃校の先進的な活用事例というだけでなく、産業振興、地域交流、都市観光の促進を行うユニークな施設として注目を集めた。

期 間	視察受入件数
平成21年8月から平成22年7月	37件
平成22年8月から平成23年7月	28件
平成23年8月から平成24年7月	70件
平成24年8月から平成25年7月	61件
平成25年8月から平成26年7月	26件
計	222件

⑩収支

⑩－1世田谷ものづくり学校収支

(単位:千円)

		H21年8月～ H22年7月	H22年8月～ H23年7月	H23年8月～ H24年7月	H24年8月～ H25年7月	H25年8月～ H26年7月
収入	施設賃貸借料	85,272	76,546	84,674	94,560	94,254
	入居者光熱水 費負担金	4,726	4,786	5,055	5,616	5,907
	施設内飲食店 (カフェ)事業売 上	15,752	15,418	18,700	13,958	13,167
	地域貢献活動 イベント収入等	2,836	4,560	2,345	2,394	1,504
	合計	108,586	101,310	110,774	116,528	114,832
支出	起業・創業技術 支援事業費	1,920	3,240	3,814	3,640	3,350
	起業・創業の場 の提供事業費	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006
	新たな産業創 出事業費	0	3,870	6,960	6,540	6,700
	ものづくり体験 および交流事 業費	4,760	3,630	5,440	5,990	6,140
	地域活性化事 業費	20,776	13,464	21,024	20,944	16,330
	施設管理業務 費	78,004	74,016	69,801	72,784	78,395
	合計	108,466	101,226	110,045	112,904	113,921
収入－支出		120	84	729	3,624	911

⑩－2世田谷区の歳入・歳出

(単位:千円)

		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
歳入	施設賃貸借料	10,008	10,008	10,008	10,008	12,121 +911(寄付)
	合計	10,008	10,008	10,008	10,008	13,032
歳出	修繕	740	917	459	38	498
	空調・換気設備 定期点検	76	76	61	61	106
	環境衛生業務 委託	468	468	468	430	442
	自家用電気工 作物定期点検	217	234	217	225	231
	消防設備保守 点検	210	210	210	210	162
	建築設備定期 点検	214	168	168	116	74
	負担金(電気 代)	156	156	156	64	0
	その他※	1,785	47,716	0	3,314	10,087
	合計	3,866	49,945	1,739	4,458	11,600
歳入－歳出		6,142	－39,937	8,269	5,550	1,432

※H22年度 トイレ改修設計委託(1,785千円)

※H23年度 トイレ改修工事(47,716千円)

※H25年度 雨漏り工事(2,142千円)＋賠償(342千円)＋外壁躯体調査2回分(830千円)

※H26年度 外壁等修繕(10,087千円)

※空調・換気設備定期点検及び負担金(電気代)は、若者就労支援センターについての支出

⑪まとめ(第2期)

民間のノウハウを活かした起業・創業支援をはじめ、入居事業者間の交流や商店会の設立や世田谷パン祭りを開催するなど新たなコミュニティづくりを行い、地域と一体となった取り組みを進め、浸透してきている。

そのようなことから、「ものづくり学校の運営等に関する協定書」の事業目的である学び・雇用・産業の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化、世田谷らしい新たな産業及び観光拠点の育成、創業に関する技術的な支援及び場の提供、ものづくり体験及び交流の場の提供について、十分に目的を果たしたといえる。

一方で、世田谷ものづくり学校退去者のうち区内で創業する事業者が少なかったことから、区内創業者を増やすことが課題となった。

前期に開設したせたがや若者サポートステーションの利用者がものづくり学校入居企業の職場見学などを通じて、就労イメージを広げることができた。

(3) 第3期(平成26年8月～)

①ものづくり学校の運営等に関する協定書(抜粋)

(事業目的等)

第1条 株式会社ものづくり学校は、本物件において、世田谷区財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例第4条第3号に規定するものづくりに関する事業を行う。

2 株式会社ものづくり学校は、ものづくり事業を調整し、及び運営するに当たっては、学び・雇用・産業の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を目指し、以下の事業に取り組むものとする。

- 1) 創業に関する場の提供
- 2) 創業に関する技術的な支援(セミナー、講座の実施等)
- 3) 世田谷らしい産業・観光拠点の育成
- 4) 新たなコミュニティづくりと地域の活性化への取組み(地域交流イベントの実施等)
- 5) ものづくり体験及び区民交流の場の提供(企画展やワークショップの実施等)
- 6) 区内創業・雇用創出の拡大(世田谷産業振興公社及び世田谷若者就労支援センター等との連携)
- 7) 区内事業者及び区との連携による区民サービスの向上
- 8) 「世田谷ブランド」の普及・向上による産業の活性化

3 ものづくり事業におけるものづくりとは、人が身体を動かし、具体的な創造的製作をする行為及びその支援をする行為並びに生活環境を向上させるため有形・無形の文化的資産を創造・伝達させる行為とする。

4 株式会社ものづくり学校は、別途、世田谷区と株式会社ものづくり学校の間で、定期建物賃貸借契約を締結することを前提として、本物件に入居する事業者(入居事業者)を募集し、本物件の旧教室部分を転貸するものとする。なお、入居事業者を募集するにあたっては、区民及び区内の事業者を優先するとともに、創業したての者に対しては創業期にあることを配慮し、適正な額の転借料を負担させるものとする。

5 対象者の募集資格は、次のとおりとする。

(1) 次のいずれかに関するものづくりを行う者であること。

ア 工業製品デザイン

- イ 映像
- ウ 音楽
- エ 建築
- オ 家具・インテリア
- カ 絵画、彫刻、オブジェ、陶芸、その他のアート
- キ アからカまでに定めるものの事業化を円滑に行うためのビジネスシステムをデザインするもの
- ク その他ものづくり事業にふさわしいと判断されるもの

(2) 次のいずれにも該当する者であること。

- ア 将来的に世田谷区内での創業又は企業移転についての計画を有する者
- イ 世田谷区の住民等に対して、有益な貢献をする能力・職能を有し、ものづくり事業の中で習得した技術を活かした地域貢献活動ができると判断される者

(3) ものづくり事業において統一ブランドなどに参画することのできる者であること。

(4) 次の事項を入居条件とすること。

- ア 若者の就業体験の受け入れや就業相談会・セミナーにおける相談など若者の就労支援等を年1回以上実施するなど、若者の就労支援等に積極的に取り組むこと。
- イ 旧池尻中学校における区施設（世田谷区若者就労支援センター、(仮称)若者総合支援センター）が実施する事業に積極的に参加すること。
- ウ 事業行事等への参加状況や雇用している人数などについて定期的に報告すること。

(5) 入居事業者には、創業者・起業者を必ず含むこと。詳細について、事前に協議すること。

②主な取組内容

- 平成26年 8月 キッズワークショップ2014
- (2014年) 9月 世田谷若者総合支援センター(せたがや若者ステーション+メルクマールせたがや) オープン
- ものづくり学校11周年(10周年)記念アニバーサリーfest
- 世田谷パン祭り2014
- 10月 IID 実践セミナー「時流を掴んでビジネスを創る!

『現在進行形』事例分析講座

- 1 1月 最新3Dスキャナーで「スキャニスト」体験
- 1 2月 デジタル粘土体験 3Dプリンタで鏡餅づくり！
MAKE PARTY～ものづくり関係者が集う交流会～
ハニカムジカ～0歳からの親子でたのしむ音楽フェス！
- 平成27年 1月 レーザーカッターで合格祈願！えんぴつ刻印
(2015年) 池尻ロマンス座100回記念パーティー
- 2月 ものづくりのパラダイムシフト「ソーシャルファブリケーション時代の建築」
- 3月 夜の館内ツアー「暮らしと仕事が変わる地域の拠点を見学してみよう」
世田谷パンまつりの仕掛け人に学ぶ、地域を元気にする祭りをつくる働き方
- 4月 空色のホリデー2015
-問寺-学校では教えてくれない、大人の嗜み「はじめての輪行
- 5月 一期一会計～「会計」が少しだけ近くなる会～
エシカルファッションカレッジ
- 6月 三宿蚤の市2015
- 7月 親子で楽しむ3Dプリンター「デザインを学ぼう」
世田谷カレーパン祭り2015
池尻小学校チャレンジスクール体験講座
- 8月 キッズワークショップ2015
親子で参加♪建築家と家作り工作教室！
- 9月 世田谷おしごとづくりファームイベント
ART&ものづくりの大人学祭世田谷文化祭2015
- 10月 世田谷パン祭り2015
昭和女子大学伊藤研究室×株式会社竹尾「紙組展」
一線のプロから仕事の創り方を学ぶ子どもビジネススクール！
- 1 1月 子どもの心を開放する、親子のためのアート体験！
- 1 2月 fabbot サンタでプログラミングを学ぼう
クリスマスイベント「ettone Xmas」
- 平成28年 1月 好きなことで起業する！「趣味起業 EXPO2016」
(2016年) 2月 スモールビジネスを成功に導くWEBセミナー

- リバースエンジニアリングを体験しよう！！
- 3月 多摩美術大学造形表現学部 三科合同卒業制作展
自分らしく働くための ANYTIMES 活用法&懇親会
- 4月 キッズ憲法カフェ、IID グリーンクリーン 2016
IID 創業支援セミナー「クリエイターとして働くということ（トークイベント）」
世界を旅する作品を作ろう！誰かとつながるぬり絵ワークショップ
- 5月 「windows」版マイクラフトで3Dプリンタを体験しよう！！
ファーストクラウンを作ろう！
- 6月 みんなで考え みんなでつくろう エコなくらし（イベント）
三宿蚤の市 2016
- 7月 TOKYO ものづくりセッション
独立起業セミナー「ソーシャルな仕事作り」
- 8月 キッズワークショップ 2016、世田谷声優フェス
- 9月 Google 検索だけで満足しない、一歩先をいく収集・整理術（創業支援セミナー）
★クリエイター交流会★活躍中の人も、これからの人も
- 10月 世田谷パン祭り 2016
たいけん SHOP「丹波栗の市&チーズマラソン食の学校・秋編」
- 11月 「PTA」から「FabLab Setagaya at IID」へリニューアル
Brain Science から発信する Art 展
- 12月 2020年教育大改革のモヤモヤをすっきり！教育を語ろう（トークセッション）
3Dものづくり活用講座
- 平成29年（2017年） 1月 憧れのデジタル刺繍ワークショップ
ものづくりの安全を考えよう
- 2月 ドローンをテーマにした講座「IID Drone School」開講
売る前に欲しくなってもらうためのカラクリ！売れるキャッチコピーはこうつくる

- 3月 Make Network Party2017 春-ものづくりの異業種交流会-
東京野球ブックフェア
タグポートAWARD受賞作品展
- 4月 ロボットプログラミング体験教室
amazon キッズブックウィーク
- 5月 三宿蚤の市 2017
IID グリーンクリーン 2017
- 6月 自然の力&偶然の力を楽しむ、染物ワークショップ
水辺浮遊体験—蛍色に光るハンモック×アクアリウム
「もっと見る」を押したくなくなっちゃうフェイスブック投稿タイトルの作り方
- 7月 LIFE SPEEC CO-OP
Notre Paradis 僕らのパラダイス展
- 8月 キッズワークショップ 2017
第三世代が考える広島「 」継ぐ展 2017
東京在住の 30 代クリエイターが中心となり、「ヒロシマ」をテーマに若い世代や親子連れに向けた平和学習の場所を提供し、戦争体験者と非体験者をつなげる企画展。
- 9月 多気ワークスタイルセミナー—農村資源をデザインする
- 10月 世田谷パン祭り 2017
YURUFUWA FESUTA
- 11月 「FabLab Setagaya at IID」1周年記念イベント
想いを伝えるカードデザイン大賞
- 12月 3DCAD と 3D プリンターでヨーヨーを作って遊ぶワークショップ！
世界の課題を子どもたちが解決するワールドピースゲーム
- 平成30年 1月 IID 創業支援セミナー「創業力」「調達力」を磨く！
(2018年) 2月 世田谷のものづくりを見る！楽しむ！5日間（イベント）
3月 とりまっち in TOKYO 鳥取と作家活動の関係（トークイベント&交流会）

- IID グリーンウィーク 2018
- 4月 Blue Seed School～ともだち100人できるかな？
コワーキングスペース運営者勉強会
- 5月 「動物脳」を解放し、健康な体を取り戻そう！（講座）
- 6月 三宿十の市 2018
- 7月 おーるうなーず&IID 世田谷ものづくり学校
創業感謝祭 LIFE SPEC CO-OP2
- 8月 キッズワークショップ 2018
- 9月 東京 LOBBY in IID 世田谷ものづくり学校
- 10月 世田谷パン祭り 2018
世田谷クラウドファンディング学校
- 11月 Repair Lab（リペアラボ）
ベンチャーキャピタルが教える！スタートアップ的次世代ものづくりビジネスの作り方
- 12月 親子 OK！農家と料理人から食を学ぶ土曜日の学校
給食
初歩から学べる次世代技術と製造業セミナー
- 平成31年 1月 いのちの感謝祭マーケット
(2019年) MakeX2018 世界大会報告&教育者向けワークショップ
- 2月 「住のシェア」で旅するように暮らす、多拠点生活の可能性
- 3月 街と空間の編集学-世界を編集するクリエイティブとは（トークイベント）
- 4月 平成最後の完写祭 in IID 世田谷ものづくり学校
- 令和元年 5月 世田谷十の市 2019
(2019年) こたえのない学校！ラーニングクリエイターラボ
- 6月 まねきねこワークショップ～2020年に向けて～
IID グリーンウィークエンド 2019
- 7月 3Dプリンターでルアーを作るためのワークショップ
- 8月 キッズワークショップ 2019
- 9月 VR コンテンツ制作超入門（無料体験会）
- 10月 世田谷パン祭り 2019

- IID 社労士「無料」相談会
- 1 1月 「FabLab Setagaya at IID」3周年記念交流会
- 1 2月 (実践) WordPress で集客できる WEB サイトを作ろう
- 令和2年 1月 ドロップイン型ワークスペース「IID LOUNGE」オープン
(2020年)
- STEAM 教育勉強会「STEAM ベース」
- 2月 素材博士になって、宝物標本箱をつくろう！
- 3月 街で自然農 春の種撒きと桜染めなど
- 4月 「ひとり出版社」とはたらきかた (トークイベント)
- 5月 せたがや、はたらきかた Vol.1 (フリーペーパー)
- ものづくり学校でフェイスシールド提供
飲食店を救うテイクアウトのノウハウ (オンラインイベント)
- 6月 IID オフィシャル note 開設
無料ワークスペース開放 (近隣の方対象)
- 7月 世界のプラスチックごみを減らす 19 歳。Z 世代の企業 「HAYAMI」の草ストロー (オンラインイベント)
- 創業支援向けの新サービス「創業エキスパートサポート」スタート
- ワークスペース利用者や区内で起業・創業を希望している方を主対象に、各専門家 (弁護士、公認会計士など) とオンライン相談が受けられる創業支援サービス
- 8月 119 号室に新たなコワーキングスペースを拡張
オンライン面接を受けるためのレンタルスペース YellRoom (世田谷区事業)
- キッズワークショップ 2020 (オンライン配信など)
- 9月 親子で学ぶ 自然の力を生かす家づくりワークショップ
- 1 0月 シェアサイクルスポット「LUUP」設置
- 1 1月 ものづくり学校が昭和女子大学で授業
地域でつくる、やさしい街とコーポラティブな暮

- らし（オンラインセミナー）
世田谷パン祭り 2020（オンライン）開催
- 1 2月 LED で光るクリスマスカードを作ろう（子ども向け）
池尻児童館イベント（スタンプラリー）協力
- 令和3年 1月 地域に融ける暮らしの入り口、どうつくる？松陰
(2021年) 神社前のシェア型スペースが目指すこと
- 2月 「いいオフィス」とのパートナーシップ開始
IID LOUNGE の間口を広げて利用者促進のため、
「いいオフィス」とのパートナーシップを開始。ビ
ジネスマンなどの需要を見込む。
- 3月 SETAGAYA PORT Opening Event（オンライン開催）
- 4月 創業支援サービス「おしごとスケッチ」
YellRoom ものづくり学校事業として継続
- 5月 入居者へのクラウドファンディング支援を実施
- 6月 CONNECT～ミライノトビラ（オンライントークイ
ベント）
オンラインイベント「SETAGAYA SOCIAL LABO」開
催
- 7月 SETAGAYA PORT コミュニティスペースオープン

③入居事業者

区内で創業する方のためにコワーキングスペースを提供し、インキュベーション施設として区内創業の機会を創出した。また、既に創業・起業している一般入居者と創業支援ブース入居者との交流が自然発生的に行われ、創業の機運を高める一助となった。

主な業種:グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、建築設計、映像制作、映像編集、木工制作、広告制作、インテリアデザイン、パッケージソフト制作、食品製造、ウェブデザイン、イベントプロデュース、メディアコンテンツ制作、飲食プロデュース など

期 間	一般事業者	支援事業者	コワーキングスペース	計
平成26年8月から平成27年7月	30	10	5	45
平成27年8月から平成28年7月	30	9	7	46
平成28年8月から平成29年7月	30	9	14	53
平成29年8月から平成30年7月	31	10	12	53
平成30年8月から令和元年7月	32	10	14	56
令和元年8月から令和2年7月	30	10	26	66

④来場者数

幅広い世代、職業の方々が多様な目的を持って訪れ、人々の交流と体験からネットワークが形成された。特に3D プリンターや3D スキャナーの導入が、中学生から高齢者まで幅広い層の利用につながった。

期 間	来場者数
平成26年8月から平成27年7月	65, 279名
平成27年8月から平成28年7月	67, 762名
平成28年8月から平成29年7月	89, 994名
平成29年8月から平成30年7月	87, 855名
平成30年8月から令和元年7月	88, 743名
令和元年8月から令和2年7月	57, 496名
計	457, 129名

⑤IID ギャラリーの活動

アート、工芸作品など様々な展示会が開催され、製品発表の場としても活用された。また、レセプションや企業の周年パーティーとしても多く利用され様々な方の交流の場となった。

期 間	開催件数
平成26年8月から平成27年7月	20回
平成27年8月から平成28年7月	29回
平成28年8月から平成29年7月	25回
平成29年8月から平成30年7月	21回
平成30年8月から令和元年7月	21回
令和元年8月から令和2年7月	12回
計	128回

開催内容:チョークアート展、慶応義塾大学展示会、多摩美術大学展示会、
The Looking Glass を用いた3D 映像展 など

⑥ワークショップの活動

多岐に渡るジャンルのワークショップを年間平均400回以上開催し、知識や情報を教えるだけでなく、参加者同士の交流も促進することができた。前期から継続して子どもを対象にした講座も多数開催し、将来の仕事の多様性、働く意志を創出するきっかけとなる機会を提供した。

期 間	ワークショップ開催件数
平成26年8月から平成27年7月	529回
平成27年8月から平成28年7月	564回
平成28年8月から平成29年7月	475回
平成29年8月から平成30年7月	480回
平成30年8月から令和元年7月	490回
令和元年8月から令和2年7月	328回
計	2,866回

開催内容

- ・プログラミング教室 ・スノードームづくりワークショップ
- ・キッズワークショップ ・3D プリンターワークショップ
- ・ドローイングワークショップ ・音楽プロデュースワークショップ
- ・作曲ワークショップ ・レッジョ・エミア・アプローチ現地研修報告会 など

⑦イベントの開催

世田谷パン祭りは5万人以上が集まるイベントに成長し、観光の拠点となった。また、多世代が集まれるイベントを開催し、様々な方が出会い、コミュニティを育むことができた。

期 間	イベント開催件数
平成26年8月から平成27年7月	28回
平成27年8月から平成28年7月	33回
平成28年8月から平成29年7月	46回
平成29年8月から平成30年7月	36回
平成30年8月から令和元年7月	44回
令和元年8月から令和2年7月	22回
計	209回

※開催内容

- ・世田谷パン祭り:パンを作る人、食べる人、学ぶ人、様々な想いを持った人たちが集うイベント
- ・ART&ものづくりの大人学祭世田谷文化祭:表現、体験、楽しむ、作る、観る、食べる刺激的な大人の学祭
- ・平成最後の完写祭:平成最後のひと時を共有し合うプロジェクト
- ・池尻ロマンス座:映画を通じて世代を超えたコミュニティの醸成を育むイベント など

⑧広報

日々行われるイベント、ワークショップが、各種メディアに取り上げられ施設の知名度を上げた。

特にNHKの連続テレビ小説「半分、青い」の撮影で使用され、ロケ地巡りとしてファンが来館され、知名度が上がるとともに、観光の拠点にもなった。

期 間	イベント開催件数
平成26年8月から平成27年7月	88件
平成27年8月から平成28年7月	87件
平成28年8月から平成29年7月	108件
平成29年8月から平成30年7月	107件
平成30年8月から令和元年7月	122件
令和元年8月から令和2年7月	98件
計	610件

新聞:日本経済新聞、日刊工業新聞、朝日新聞、毎日新聞 など

テレビ:テレビ朝日、TBS、NHK、フジテレビ、日本テレビ、TOKYO MX、イツコム
など

ラジオ:J-WAVE、FMヨコハマ、エフエム世田谷 など

書籍・雑誌:AERA、Hanako、世田谷ライフ、世田谷パン図鑑 など

ウェブ:日経WEB、GOOUTオンライン、ICT教育ニュース、IDEAS FOR GOOD
など

フリーペーパー:SALUS、るるぶ.com、CANVAS、リノスタ など

⑨視察

廃校活用を検討している全国の自治体、企業、大学など多くの視察者が訪れ、産業振興、地域交流、都市観光の促進を行うユニークな施設として注目を集めた。

期 間	イベント開催件数
平成26年8月から平成27年7月	33件
平成27年8月から平成28年7月	40件
平成28年8月から平成29年7月	54件
平成29年8月から平成30年7月	46件
平成30年8月から令和元年7月	58件
令和元年8月から令和2年7月	32件
計	263件

⑩収支

⑩-1世田谷ものづくり学校収支

(単位:千円)

		H26年8月～ H27年7月	H27年8月～ H28年7月	H28年8月～ H29年7月	H29年8月～ H30年7月	H30年8月 ～R元年7月	R元年8月 ～R2年7月
収入	施設賃貸借料	83,037	93,810	91,363	90,622	97,078	87,687
	入居者光熱水 費負担金	5,231	5,913	5,015	5,212	5,411	5,129
	施設内飲食店 (カフェ)事業売 上	13,356	1,397	0	0	0	0
	地域貢献活動 イベント収入等	3,309	3,374	10,606	8,804	8,275	11,855
	合計	104,933	104,494	106,984	104,638	110,764	104,671
支出	起業・創業技術 支援事業費	560	2,307	2,196	2,194	2,436	2,731
	起業・創業の場 の提供事業費	2,752	2,162	2,220	2,180	2,389	2,363
	新たな産業創 出事業費	16,626	20,048	14,851	14,516	12,689	13,465
	ものづくり体験 および交流事 業費	5,441	5,332	5,805	5,425	5,275	5,352
	地域活性化事 業費	10,479	9,173	9,613	9,383	8,977	8,494
	施設管理業務 費	77,474	66,652	71,194	68,922	77,819	71,861
	合計	113,332	105,674	105,879	102,620	109,585	104,266
収入－ 支出		－8,399	－1,180	1,105	2,018	1,179	405

⑩－2世田谷区の歳入・歳出

(単位:千円)

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2年度
歳入	施設賃貸借料	13,012	13,012	13,012	13,012	13,132	13,253
	合計	13,012	13,012	13,012	13,012	13,132	13,253
歳出	修繕	918	273	558	228	221	205
	空調・換気設備定期点検	111	111	110	110	112	113
	環境衛生業務委託	418	418	418	430	462	467
	自家用電気工作物定期点検	216	216	215	293	341	316
	消防設備保守点検	120	152	268	144	206	275
	建築設備定期点検	44	87	43	43	108	55
	その他※	0	3,793	0	1,188	13,615	0
	合計	1,827	5,050	1,612	2,436	15,065	1,431
歳入－歳出		11,185	7,962	11,400	10,576	－1,933	11,822

※H28年度 水道給水設備工事(3,793 千円)

※H30年度 南側バルコニー防水工事(1,188 千円)

※R 元年度 耐震補強工事設計委託(13,615 千円)(施設営繕課の予算で執行、厚生会館分と併せて実施)

⑪まとめ(第3期)

第3期から社会情勢を見据え、その時代に合った創業支援の形として、コワーキングスペースを提供し、インキュベーション施設として区内創業の機会を創出した。

また、3D プリンターや3D スキャナーを設置することにより、ものづくりに関心の高いクリエイター同士の交流が生まれるとともに、実際の機器を使ったセミナーや講座を開催することで、より高度な技術を習得できる場となった。

区立小学校でプログラミングの出前授業サポートを行うなど、今後必修科目となるプログラミング教育への協力や、海外の教育プログラムをテーマにした子ども・親子向け講座を数多く開催し、新たな教育をテーマとした活動を実施した。

平成26年9月に施設内にひきこもり等の相談支援を行うメルクマールせたがやを開設し、せたがや若者サポートステーションと併せて「世田谷若者総合支援センター」と

なった。引き続き、ものづくり学校内の入居企業での体験から就労につながる事業連携を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、フェイスシールドの作成やオンライン面接を支援するエールームの開設など、施設の強みを活かした新たな取り組みを行った。

5. 入居者からの声

～ 入居者からの声① ～

・ものづくり学校に入居していた(携わっていた)期間
(2005年～2007年)

・ものづくり学校に入居した(携わっていた)理由

- 入居当時、複数人で構成するフリーランスのチームだったため、初期費用が安く、各々のアクセスがよい共有スペースを探していた事。
- 廃校を利用した施設として話題性があり、世田谷区内の情報も入手しやすい(と思えた)事。
- 創業支援制度があった事。
- 入居に際して、いくつかのプレゼンを行い入居者を選考するという制度が面白く思えた事。

・ものづくり学校に入居して(携わって)良かったこと

- 産業振興公社の方から区内産業に関するお話を聞いた。
- 創業支援ブースで他業種の方と意見交換が行えた。
- ものづくり学校の職員の方から、施設内でのイベントに携われる、仕事としての案件をいただいた。
- 未来博(現・産業フェスタ)の実行委員会をご紹介いただき、同イベントに業者として参加する機会をいただいた。
- 施設内のイベントブースなどを安価で利用することができた。

・今後、ものづくり学校(旧池尻中学校跡地)がどのような場であって欲しいか

- 地域経済団体が利用しやすいスペース。(イベント・会議等)
- 地域活動の拠点とし、行政とも連携がとりやすい施設。
- 世田谷区内の交流やイベントの場としてまず頭に浮かぶような施設。
- 日頃から災害に備えた設備を保持し、緊急避難場所として活用できる場。
- 世田谷区内だけでなく、他地区からも利用・見学に来てもらえるような話題性のある施設。
- 世田谷区産業の発信の場として活用できる施設。

～ 入居者からの声② ～

・ものづくり学校に入居していた（携わっていた）期間
（2004年12月～2013年3月）

・ものづくり学校に入居して（携わって）良かったこと

建設会社の経営者から、IID 校長に転身したことにより、地域社会の仕組みや人間関係、そして行政の役割などを知ることができたこと。

これをきっかけに世田谷区役所や産業振興公社の方たちとの親交が深まり、様々な事業に携わるきっかけとなったこと。

起業支援に関する教育プログラムを構築し、その後の事業展開の契機となったことなど、数えきれない。

・ものづくり学校でのエピソード

- 池尻団地の高齢者と若者をつなぐ「池尻ロマンス座」の発足
- 池尻団地自治会との連携により町会メンバーの動員参加を実現した、池尻小避難所訓練の活性化
- 池尻小学校の用務員と道具の貸し借りをしながら植栽の手入れを実施
- 三宿中夜間中学校の外国人生徒たちとの交流事業実施
- 池尻小学校おやじの会との連携で、IID を使用した肝試し大会
- 池尻中学校卒業生の同窓会の開催誘致
- 池尻保育園へのミッフィーハウス寄贈
- 三宿 R420 商店会の設立と、世田谷パン祭りの開催
- 千代田区錬成小学校（現 3331）の事業スキームアドバイス
- 1階廊下をランウェイに見立てた入居者（シャミ）主催ファッションショーなどなど・・・

・今後、ものづくり学校（旧池尻中学校跡地）がどのような場であって欲しいか

- 常に新たな取り組みを受け入れて、変化し続ける場であるとともに、ここを巣立った人たちから、故郷と感じてもらえる場になって欲しい。

6. 世田谷ものづくり学校に関する数値まとめ

(1) 世田谷ものづくり学校収支（第1期～第3期）

収入	1,734,130千円
支出	1,736,332千円
収入－支出	▲2,202千円

(2) 世田谷区の歳入・歳出（第1期～第3期）

歳入	181,537千円
歳出	137,545千円
歳入－歳出	43,992千円

(3) 世田谷ものづくり学校総来場者数

第1期	188,901名
第2期	220,563名
第3期	457,129名
合計	866,593名

(4) 創業者数

第1期	一般入居者退去者数	18 (2)
	創業支援事業者退去者数	23 (10)
	計	41 (12)
第2期	一般入居者退去者数	26 (6)
	創業支援事業者退去者数	30 (13)
	計	56 (19)
第3期	一般入居者退去者数	15 (5)
	創業支援事業者退去者数	22 (10)
	計	37 (15)
合計	一般入居者退去者数	59 (13)
	創業支援事業者退去者数	75 (33)
	計	134 (46)

※ () 印は区内創業者数

(5) 世田谷ものづくり学校イベント・ワークショップ実施総数

第1期	イベント数	331回
	ワークショップ数	646回
	計	977回
第2期	イベント数	140回
	ワークショップ数	1,731回
	計	1,871回
第3期	イベント数	209回
	ワークショップ数	2,866回
	計	3,075回
合計	イベント数	680回
	ワークショップ数	5,243回
	計	5,923回

7. これまでの運営等に関する課題(第1期～第3期)

これまでは地域住民や団体等と様々な取り組みを行う中で、地域コミュニティの拠点としての役割を目指してきたが、今後は社会状況の変化に伴い、社会課題を解決する取り組みが進められることが望まれる。

このことを踏まえ、以下のとおり課題をまとめた。

(1) 区民に開かれた空間

現在の世田谷ものづくり学校は、様々なイベントを開催し、コミュニティの核としての役割を果たす一方、施設を知らない周辺住民からは「中で何をやっているか分からない」との声があがっており、オープンで住民が集える場が必要である。

(2) KPI(重要業績評価指標)の設定と適切な評価体制づくり

これまでは、第2期から目標数字の設定はなされているが、KPIの設定およびそれに基づく評価はなされていない。このため、以下のような評価体制づくりが必要である。

- ・評価委員会の設置と評価
- ・KPIの設定と協議の場づくり
- ・事業性評価に対する知見向上

(3) 社会状況の変化への対応

コロナ禍やデジタル技術の大幅な進歩、SDGsへの対応等、この間の社会経済状況は大きく変化し、それに伴い産業構造や価値観も大きく変化してきている。これまでのものづくり中心の取り組みから広く産業全体を活性化させ、社会課題を解決する取り組みが必要である。

また、社会状況の急速な変化に伴い、子どもたちには自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動する能力が求められている。学校跡地という特性を活かし、多様な学びの場とすることが必要である。

このような社会状況の変化に対応して、新たな価値観を創造し、新たな学びの場を創出することが必要と考える。

8. 新たな基本コンセプトの策定について

平成16年の開設以来、世田谷ものづくり学校は「学び・雇用・産業」の再生といった視点から、新たなコミュニティづくりや地域の活性化を目指し、産業に関わる様々な事業に取り組んできた。

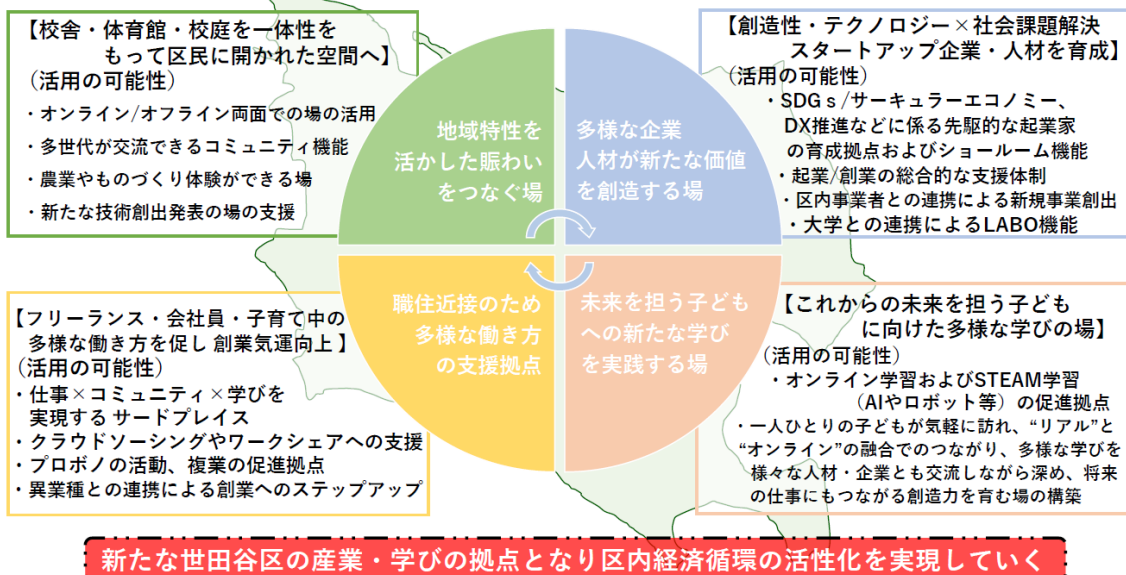
また、開設当初から積み重ねた地域コミュニティとの関係は良好なものとなっており、年間を通して開催される様々なイベントは、地域の活性化や観光拠点の育成に繋がった。

こうした成果と前述の課題を踏まえ、今後の新たな事業展開を図るため、令和元年12月に「新たな世田谷ものづくり学校の方向性に係る懇談会」を開催し、有識者などとの意見交換を重ね、旧池尻中学校跡地について、校舎・校庭・体育館を一体の空間として活用し、新たな世田谷区の産業・学びの拠点とする「旧池尻中学校跡地活用の新たな基本コンセプト」を令和3年2月に策定し、区議会に報告した。

今後は、この基本コンセプトをもとに、新たな跡地活用に向けて準備を進めるものとする。

旧池尻中学校跡地活用の新たな基本コンセプト

コロナ禍により社会が大きく変化していく中で、社会課題を創造性とテクノロジーを用いて解決する起業家を育成するとともに、未来の産業を担う人づくりに向けた取組みを実施し、多様な人材が交流連携するプラットフォームによる『コレクティブインパクト』を実現していく。



【別添資料】

イベント・出来事関連記事